

床「今どきのフローリング」のお話

お部屋の空間の中でも大きな面積を占め、素足で触れる時間が非常に長い床。リフォームを考えるとときに床材ってあまり重要視されないのが現状だと思いますが、今回フローリングにスポットを当てて、近年のフローリングをご紹介します。

フローリングには大きく分けて二通り！



無垢フローリング（単層フローリング）と合板フローリング（複合フローリング）の2種類があります。

無垢フローリングとは・・・一枚の木の板をそのまま施工して使う単層無垢フローリング。

無垢フローリングは木本来の風合いが魅力です。木は呼吸していますので、オイル仕上げにすれば冬は温かく夏はサラサラの足触りが楽しめます。表面が傷んだら削り直しての再使用も可能です。ただし乾燥具合によっては反りや狂いが起きやすいこと、質が悪いものは割れが起きることもあります。また張替え費用は合板フローリングに比べて高くなります。

本物の木の風合いと経年の変化を楽しめ、何より自然の風合いがナチュラル志向で近年人気です。

合板フローリングとは・・・基材に突き板やシートを貼った複合フローリング。

MDF(木材を繊維状にほぐし、接着剤などを配合してボードに成型した「繊維板」)に木目を印刷したシートなどを貼ったもの。合板フローリングは反りや狂いが少なく、張替え費用は安めですが、無垢フローリングに比べると足触りが冷たく感じられます。またひと口に合板と言っても、値段により彫りが深い高級タイプもあります。合板フローリングの最大の長所は、表面加工された高機能タイプが多いことです。天然の無垢では作ることが難しい人気の幅広のフローリングなどデザイン的にも、傷に強くメンテナンスが少なく済むのも合板フローリングの強みです。

合板フローリングの表面機能は年々進化しています。アンモニアや水に強いタイプならペットを飼っている家や、キッチン、トイレにも安心して使えます。他にもキャスターや車椅子等の凹みに強いタイプ、ワックス不要タイプ、抗菌塗装のタイプなど色々ありますので、生活スタイルや部屋に合わせて選びましょう。

フローリングリフォームは、古い床をはがして貼る、or重ね張り、どっちがいい？



フローリングリフォームには、古い床板をはがしてから張る方法と、はがさずに上から重ね張りする方法があります。床が沈む、床鳴りがするというような症状がある時は、床組の腐食やゆるみの可能性があります。張替えリフォームの時には、床組の点検と補修を一緒におきましょう。

【フローリングをはがして、張替えるリフォームの特徴】

- ・リフォーム前と後で、床高さがほとんど変わらない
- ・床組の腐食など、下地の状態を確認しやすい
- ・古いフローリング材をはがす工事が必要
- ・中木などの周辺部材の工事が必要になることも
- ・工事の手間が掛かり、費用がかさみやすい

【フローリングをはがさず、重ね張りするリフォームの特徴】

- ・リフォーム前に比べ、床材の厚み分だけ床高さが上がる
- ・床が上がった分だけ、扉の調整などが必要になることも
- ・床下地の腐食など、状況を確認しにくい
- ・二重になる分、床が丈夫になる
- ・工事がカンタンで、費用を安く抑えやすい

フローリングの色の選び方

フローリングリフォームの際、悩みの種になるのが色選び。実はリフォームならではの選び方があります。



高級感が欲しいならダーク色・・・

ダーク色のフローリングを選んでリフォームすれば、部屋全体が落ち着いた雰囲気になります。そして濃い色の床のメリットは、何と云っても、安いシリーズでも高級感が出せること！ただしホコリが目立ちやすいので、マメなお掃除を心がける必要があります。

北欧風自然な感じがよければナチュラル色・・・

ライト色のフローリングを選んでリフォームすれば、ナチュラルで明るい雰囲気の部屋になります。また淡い色の床のメリットは、ホコリや傷が目立ちにくいことですので、少々お掃除をサボっても大丈夫！ただし安いシリーズを選ぶと、部屋全体が安っぽく見えてしまうという欠点も。床のグレードは高めを選ぶのがお勧めです。パイン材の無垢などは代表的なナチュラル床材と言えるでしょう。

中間色の床にリフォーム-オーソドックスで飽きの来ない空間に・・・

中間色のフローリング材は無難なイメージがありますが、実はコーディネートが難しい色。微妙に色味が違う中間色が、1部屋の中にたくさんあると雑多な雰囲気になってしまいます。床の色と、家具やドアの色をしっかりとコーディネートしましょう。ホコリや傷の目立ち度は、可もなく不可もなく。上手にまとめれば完成度の高い空間を作ることができます。

リフォームでは、ドアや家具はそのまま残してフローリングだけ張替えるケースや、逆にドアだけ交換するケースもあります。

リフォームは全てが新しくなる新築とは違い、今ある色と上手にコーディネートすることが、完成度を高めるコツです。フローリングやドア選びの際には、必ず実物サンプルを用意してもらい、合わせながらじっくり選びましょう。



れんこんと長芋のスープ

材料(4人分)

- ・鶏もも肉 2枚(500g) ・にんじん 100g
- ・水 8カップ ・えりんぎ 1本
- ・れんこん 200g ・塩・こしょう 各少々
- ・長芋 200g ・小ネギ 適量

- ① 鍋に水と鶏もも肉を切らずに入れ、中火にかける。沸騰したらアクをすくい、弱火で約30分フタをしなくて煮る。その後鶏もも肉を取り出し、食べやすい大きさに裂く。
- ② にんじんは皮をむいて3mmのイチョウ切り、長芋は皮をむいて7mmのイチョウ切り、えりんぎは乱切りにする。
- ③ ①の鍋に②を加えて煮る。柔らかくなったら①の鶏もも肉を戻し入れ、皮をむいたれんこんをすりおろしながら加える。
- ④ ひと煮立ちしたら塩、こしょうで味をつけて器に盛り、小口切りにした小ネギをかけて出来上がり！

れんこん

れんこんに含まれる粘り成分のムチンは、胃壁を保護する効果や、たんぱく質の分解に作用するので、胃腸の働きを助け保護してくれます。また、ビタミンCも豊富なので疲労回復、かぜの予防、ガン予防、老化防止に効果があります。

